

記入例

注)
 1. 提出先: 健保
 2. 記入間違いの際は、二重線を引き訂正印を捺印の上、修正してください。

支給法定	円	常務理事	事務長	課長	係
決定額付加					
支給期間	自令和 年 月 日 至令和 年 月 日	いづれか○で囲む 被保険者←本人が対象の場合 家族 ←被扶養者が対象の場合			
備考					

被保険者の保険証に印字されている資格取得年月日を記入

<発病又は負傷年月日が不明の場合>
 →「～頃」という記入でも可

※以下記入例参照のこと
 <転倒の場合>
 →具体的な状況を記入【記入例】

・歩行中、縁石に躓いたため
 ・駅の階段で足を踏み外し転倒

<学校管理下の場合>
 →高校生以下で、且つ部活動・課外活動等「学校の管理下」に起因する場合、その状況を記入【記入例】

・体育の授業のマラソンで、躓いて転倒したため
 ・野球部の部活動中、打球で突き指したため

<原因不明の場合>
 →「不明」と記入

<対象者が被扶養者の場合>
 →被扶養者情報を記入

<在籍者の場合>
 →本籍会社名を記入

<任継・特例の場合>
 →記入不要

療養費支給申請書

(被保険者) 家族 療養費支給申請書

被保険者等記号・番号	記号 101 番号 123456	事業所の名	BIPROGY株式会社
資格取得年月日	昭・平 令和 25年 4月 1日	診療を受けた病院の住所・名称	渋谷区笹塚▲-▲-▲ ●●病院
資格喪失年月日	令和 年 月 日	診療の内容	診療費領収明細書の通り
発病又は負傷年月日	令和 3年 11月 30日	診療期間	自令和 3年 11月 30日 至令和 年 月 日 治療中
傷病名	右足腓骨骨折	診療に要した費用	30,880 円
傷病原因	家の階段で足を踏み外し転倒		

療養の給付を受けられなかった理由

右足の短下肢装具作成のため

※第三者行為(交通事故等)の可能性が有る場合には、その内容及び相手の連絡先等を記入願います
 【第三者行為の例】

- ・赤信号で停車中、後ろから来た車に追突されケガをした
- ・家族が運転する車に同乗中、ガードレールにぶつかりケガをした
- ・歩道を歩いている時に他人とぶつかり、ケガをした
- ・飲食店で他のお客とトラブルになり、いきなり暴力をふるわれケガをした
- ・他人の飼犬に咬まれ、ケガをした

被扶養者の氏名	氏名 豊洲 朝子	生年月日	昭和 45年 ●月 ●日	続柄	妻
---------	-------------	------	--------------	----	---

上記のとおり申請します。また、私は、BIPROGY健康保険組合がこの給付決定の調査として、私に受けた保険給付、医療行為等に係る情報に関し、医療機関、事業所等に照会することに同意します

令和 3年 12月 12日

BIPROGY健康保険組合 御中

上記金額受領方を BIPROGY株式会社 に委任します

被保険者 氏名 豊洲 太郎 (豊洲印)

住所 東京都江東区豊洲9-9-9

電話 090-1111-1111

振込希望口座 銀行 支店 当座 NO.

確認欄
 自署の場合は捺印を省略できます。その際、この届出は被保険者が作成したものであることの証明のため、左の確認欄へチェックを入れてください。

・自署したの確認欄にチェックがなく、かつ捺印がない場合は不備となるため返却させていただきます。
 ・被保険者確認のもと、他の方が作成された場合は、チェックは不要です(捺印必要)。

<在籍者の場合>
 →本籍会社名を記入

<任継・特例の場合>
 →“任意継続”または“特例退職”と記入

<治療継続中の場合>
 →「至」には“治療中”と記入

添付する領収明細書の金額を記入

※以下記入例参照のこと
 <診療時に保険証が提示できなかった場合>
 →緊急でやむを得なかった理由を記入

<治療用装具作成の場合>
 →“xx 装具作成の為”と記入(xx = 上肢, 下肢, 体幹, 靴型, 足底 等)

<治療用眼鏡等作成の場合>
 →“治療用xxxx 作成の為”と記入 (xxxx = 眼鏡, コンタクトレンズ)

<弾性着衣等購入の場合>
 →“弾性xxxxx 購入の為”と記入 (xxxxx = ストッキング, スリーブ, グローブ, 等)

健保へ提出する日を記入

〒、被保険者の住所、氏名、電話番号、を記入、捺印も忘れずに。(シャチハタ可)

<在籍者の場合>
 →記入不要

<任継・特例の場合>
 →保険料引落口座を記入